

事業概要	知的財産権研究開発事業化	
部署	代表取締役 鈴木英雄	
所在地	〒277-0884 千葉県柏市みどり台4-23-3	
連絡先	(電話番号)04-7132-2415 (E-mail)yq@jade.plala.or.jp	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	当社の開発特許・著作物などを環境省ローカルSDGsを通して、社会貢献する。	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	観光ビジネス／農林水産業・地場産品／交通
	観光ビジネス:シェア・レンタサイクル事業と観光産業の協創。 交通:平面画像の立体認識製品技術による交通安全対策。 天敵立体視シートによる鳥獣被害対策。 イベント、展示会等の観客動員増と出展者、参加者の相互利益及び発展のためのポイントシステム。 平面画像の立体視による自動運転及び関連技術による社会改善と1.2.3次産業の支援。	
	URL	<a href="http://www8.plala.or.jp/tasuke/">http://www8.plala.or.jp/tasuke/</a>
上記ソリューションを提供できる地域について	全国	

## 自者の特徴

- ① 交通:平面画像の立体認識製品技術による交通安全対策。  
 通行区分帯・レジ等の順番整列帯やゾーンを平面画像でありながら、あたかも立体物があるかのように見せ、走行中の通行区分帯から他の区分帯に侵入させにくくさせ、事故を激減させる方法及び製品(交差点の中央においてもぶつからず、乗りあげるだけで事故が低減します。



実物ポール



ポール平面画像変換



置くだけ



点字ブロック貼付



自動車 avoids



徐行等注意喚起



広告効果(オリンピック等に効果)



## 【潜在課題の概要】

新型コロナ3密対策として、政府や地方自治体(世界的にも)自転車利用が推奨され、利用する人が増えています。

しかし、車・歩行者との接触・衝突等の事故が多発しています。

自転車道路整備が進んでいますが、自転車通行帯の設置により自動車道路幅が狭くなり、それに関しても悩みが多くなっています。

また、自転車走行帯に駐停車が見られ、それに伴う事故も増えています。

その対策として、交通帯の区分に実物ポールや縁石を用いる方法が考えられていますが、道路占有問題や衝突などの事故がおきます。

ホーム・ホールや地下道などの通行において混雑状況が多くみられ、これにもロナ対策が必要で、テープ・平面画像シートを貼ったり、ポールを立てています。

しかし、効果はいまいちである。

工場や職場などでも虎テープや平面画像シートで対策していますが、近くで確認するため対応効果がいまいちです。

自者の特徴	<p>【解決の方向性】 上記解決するために、ポールなどの実物が平面画像でありながら立体視されるシートを用いることで、効果を上げることができる。 平面画像の立体認識による分離方法・製品（埼玉県新製品・新技術マッチング事業採択・越谷市しらこぼと公園出入り口道路6m幅300m中央に立体視ポール平面画像30枚貼付→2年間の設置実証実験でこれまで無断駐停車や中央走行問題に対し、駐停車ゼロ、左側通行励行による混雑解消を果たしました） 国土交通省NETIS申請中で、近日認可おける予定。</p> <p>② 天敵立体視シートによる鳥獣被害対策。 カラス・ムクドリなどの天敵であるオオタカ平面画像の立体視シートを電柱などに群がっているカラスにかざすと皆逃げ飛び去ります。 電柱にカラス営巣対策、飛行場のバードストライク対策、住宅や駐車場（展示場など）の対策に効果。 静岡市のムクドリ数千羽が天空から木々に舞い降りたところを釣り竿にぶら下げたオオタカ平面画像の立体視シートをかざすと、一斉に天空や高いビル・電線上に逃げ飛び去る。 池のカモにかざすと、一斉に飛び去りますので、ハスやレンコン被害に効果。</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	零細企業のため、知名度や販路に悩んでいます。 公的機関、道路関連に使ってほしい。